第 173 回　福岡産科婦人科学会

プ　ロ　グ　ラ　ム

(現地開催＋後日オンデマンド配信)

会　場　　北九州国際会議場
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 3 丁目 9 番 30 号
TEL 093 - 541 - 5931

日　時　令和 8 年 9 月 27 日（日）

9 : 30 ～　理　事　会　　(21 会議室)
10 : 30 ～　専門医制度委員会ならびに学会雑誌編集委員会（21 会議室）
11 : 00 ～　評　議　員　会（21 会議室）
13 : 00 ～　総　　会　（メインホール）
13 : 10 ～　専　門　医　共　通　講　習　（メインホール）
14 : 15 ～　学　術　講　演　会（メインホール）
17 : 35　　終　　了

現地＋後日オンデマンド配信形式での学会開催とします。（ライブ配信はありません）詳細につきましては福岡産科婦人科学会のホームページにおきまして、随時情報を更新いたします。

1. 第 173 回福岡産科婦人科学会の**ホームページより、前日までに事前登録**をお願いします。
2. 後日オンデマンド配信中にも**事後登録**は可能です。
3. 講演時間は 9 分（発表 6 分、質疑 3 分）。
4. 発表は事務局で用意した Windows PC で行います。USB メモリーに発表データを入れてお持ちください。予備として発表データが入った PC 本体もお持ちください。
5. 会場に用意する PC のアプリケーションは Windows Microsoft PowerPoint2019 です。
   ＊Macintosh をご使用の方は、必ずパソコンと専用コネクタをお持ち下さい。
   ＊プロジェクターとの接続ケーブルコネクタは、HDMI 又はミニ D-Sub 15 ピンです。
   ＊発表者ツールのご利用はできません。発表資料は事前にプリントアウトの上お持ちください。
6. 評議員の先生には事前にお申し込みをされた方にお弁当(実費 1,000 円)をご用意します。
7. 評議員の先生のお食事会場は、北九州国際会議場 21 会議室になります。
8. 今回の専門医共通講習は、現地開催とオンデマンド配信を予定しています。オンデマンド配信を視聴では、講習終了後の設問（５択）に正解した場合に、専門医共通講習の医療倫理（必須）１単位が付与されます。
9. 学会に関するお問い合わせは担当校（産業医科大学　担当：西村）までご連絡下さい。

担　当　産業医科大学　産科婦人科学教室

主　催　福岡ブ　ロ　ッ　ク

専門医機構認定共通講習（専門医共通講習）

13：10 ～14：10

座長：吉野　潔（産業医科大学）

「医学研究と倫理」

～産科婦人科領域の研究における患者・市民参画（PPI）～

石丸　知宏（産業医科大学 医学部 医学概論 教授）

※本講習の受講により、「専門医共通講習:医療倫理（必修)1 単位」が付与されます。

一　般　演　題

14：15 ～17：35

第 1 群）14：15～15：05

座長：小　玉　敬　亮（　九州大学　）

1. 腹腔鏡下手術により診断した卵巣妊娠破裂の一例

大牟田市立病院　○杉　悠・富　田　稜・上　原　真　実・坂　田　光太郎・村　上　文　洋

2. 腹腔鏡下手術で治療した単一胚移植後の正所異所同時妊娠の 1 例

福岡赤十字病院　○山　道　力　子・濵　﨑　洋一郎

中　尾　智　美・竹　内　　優
江　﨑　高　明・古　賀　万里子
衛　藤　　遥・貴　島　雅　子
和　田　智　子・藤　田　恭　之
西　田　　眞

3. 当院で行った腹腔鏡下子宮頸管縫縮術の２例

九州大学病院　○田　中　万　輝・中　原　一　成
松　﨑　聖　司・杉　浦　多佳子
清木場　　亮・坂　井　淳　彦
城　戸　　咲・矢　幡　秀　昭

4. 深部子宮内膜症(Deep Endometriosis: DE)を背景とした子宮動脈仮性動脈瘤破裂により妊娠を中絶するに至った１例

九州医療センター　○牛　島　　崇・瓦　林　靖　広
杉　本　愛　沙・中　村　鞠　那
榊　　美香子・鈴　木　りりこ
川　上　　穣・楊之浦　佳　奈
黒　川　裕　介・早　瀬　千　尋
藤　原　ありさ・小　川　伸　二

5. 腹腔鏡下両側付属器切除術後に診断された卵管癌 IA 期の一例

社会保険田川病院　○竹　内　敬　祐・葉　　高　杉
藤　井　　毅・蜂須賀　　徹
黒　松　　肇
同　病理診断科　三　原　勇太郎

第 2 群）15：05～15：55

座長：友　延　　寛　（　九州大学　）

1. MPA 療法により長期 CR を維持した子宮体癌 IVB 期の 1 例

聖マリア病院　○片　岡　　凛・浦　郷　康　平
池　澤　佳　子・平　野　佑　季
島　内　明　子・江　島　有　香
田　邉　優　介・立　野　崇　正
石　黒　　元・石　原　絢　音
井　上　麻　実・朴　　鐘　明
下　村　卓　也・寺　田　貴　武

2. Lenvatinib、Pembrolizumab 併用療法中に腸管穿孔をきたした子宮体癌再発の 1 例

済生会福岡総合病院　○真　島　結　子・田　渕　景　子
井　崎　愛　音・眞　鍋　有紀子
遅　野　井　彩・米　田　智　子
松　浦　俊　明・西　　大　介
丸　山　智　義

3. 放射線治療用吸収性組織スペーサを併用した再発卵管癌肉腫の一例

産業医科大学　◯石　橋　咲　季・原　田　大　史

植　田　多恵子・武　富　瑠　香
遠　山　篤　史・金　城　泰　幸
村　上　　緑・西　村　和　朗
栗　田　智　子・吉　野　　潔

同　産業保健学部広域発達看護学　　松　浦　祐　介

4. 術前に再発低リスク群と推定された子宮体癌に対する当院の手術成績

済生会福岡総合病院　　◯井　崎　愛　音・米　田　智　子
真　島　結　子・田　渕　景　子
眞　鍋　有紀子・遅野井　　彩
松　浦　俊　明・西　　大　介
丸　山　智　義

5. 進行・再発子宮体癌に対するペムブロリズマブ併用化学療法の当院における導入時使用経験

福岡大学　　◯八　谷　　祥・井　手　麻　由
大　山　尚　彦・中　尾　優　衣
石　田　倖　子・諸　井　明　仁
清　島　千　尋・吉　川　賢　一
宮　田　康　平・四　元　房　典

第 3 群）15：55～16：45

座長：　蜂須賀　一　寿（　九州大学　）

1. **子宮全摘術後９年で骨盤内再発をきたした悪性度不明な平滑筋腫瘍(STUMP)の一例**

九州医療センター　◯榊　美香子・杉　本　愛　沙
中　村　鞠　那・牛　島　　崇
鈴　木　りりこ・川　上　　穣
楊之浦　佳　奈・黒　川　祐　介
早　瀬　千　尋・瓦　林　靖　広
藤　原　ありさ・小　川　伸　二

2. **骨盤内に巨大腫瘤を形成し卵巣未分化胚細胞腫との鑑別を要した悪性リンパ腫の一例**

九州大学病院　◯岩　見　彩　紀・友　延　　寛
上　瀧　貴　雅・廣　谷　賢一郎
中　島　　京・片　山　由　大
井ノ又　裕　介・蜂須賀　一　寿
前之原　章　司・小　玉　敬　亮
八　木　裕　史・小野山　一　郎
淺野間　和　夫・矢　幡　秀　昭

3. **婦人科癌に伴う癌性髄膜炎の検討**

久留米大学　◯原　田　薫　乃・那　須　洋　紀
沖　　栄　鴻・宮　城　湧　平
重　川　公　弥・岡　　洋　甫
山　川　理　子・清　家　崇　史
山　田　空　明・河　野　雅　法
吉　満　輝　行・勝　田　隆　博
田　崎　和　人・西　尾　　真
津　田　尚　武

4. 骨盤臓器脱術後患者に対する骨盤底リハビリテーション導入初期の経験

福岡みらい病院　　○茗　荷　　舞・片　岡　恵　子

5. 妊孕性温存治療としてバソプレシン局注下に手動式真空吸引法とバルーンタンポナーデを行った子宮頸管妊娠の 3 症例

北九州市立医療センター　　○川　浪　芙美恵・原　　枝美子
瓜　生　泰　恵・森　下　佳　登
田　中　愛理佳・大　塚　裕一郎
末　永　美祐子・井　上　修　作
北　出　尚　子・西　村　淳　一
兼　城　英　輔・尼　田　　覚
同　総合周産期母子医療センター　　髙　島　　健

第 4 群）16：45～17：35

座長：　中　原　一　成（　九州大学　）

1. 妊娠後期に肝機能障害を来たし、診断に苦慮した妊娠性肝内胆汁うっ滞症の 1 例

福岡山王病院　　○坂　田　暁　子・杉　谷　麻伊子
吉　田　至　幸・松　本　　恵
小　金　丸泰子・磯　邉　明　子
加　藤　聖　子

2. 胎盤機能不全を認めた梅毒合併妊娠の一例

産業医科大学　○梶浦花香・田尻亮祐
澤田佳乃・花川鈴
三尾母沙希・倉恒克典
飯尾一陽・柴原真美
愛甲悠希代・吉野潔
同　薬剤部　稲村由香

3. 多発子宮筋腫合併の前期破水・足位に対し超早産期の帝王切開術を施行した１例

久留米大学　○新堂慎太郎・堀之内崇士
嵩あおい・田邉美紀
柏田浩伸・下村峻司
市川晶・宮原英之
宗邦夫・清水隆宏
森岡将来・横峯正人
津田尚武

4.　当院での帝王切開術時における子宮切開創縫合法に関して

田川市立病院　○藤田拓司・馬場春美
野田貴美子・椎名隆次

5.　びまん性平滑筋腫合併妊娠に対する術中超音波ガイド下帝王切開

福岡大学　○中村佳帆・永田浩士郎
石田智大・松﨑舟
林田知侑・尾崎知佳

徳　永　奈　穂・濱　田　奈央子
木　村　いぶき・荒　木　陵　多
讃　井　絢　子・平　川　豊　文
漆　山　大　知・四　元　房　典

【北九州国際会議場へのアクセス】

JR小倉駅から徒歩９分

各種会議は21会議室
講演はメインホール